

あ  
の  
日  
を  
忘  
れ  
な  
い  
為  
に

3月11日で、東日本大震災から丸3年となります。時間の経過とともに災害の記憶も薄れ、日々の情報から復旧・復興も進んでいるように感じる人もいるかもしれません。

しかし今なお、2,000人を超える人の行方が判明しておらず、多くの人が仮設住宅での生活を余儀なくされています。

このような被災地の状況は、次の南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率が70%を超えた今、決して他人事ではありません。

過去の震災などから学び、次の世代に地震・津波の恐ろしさを正しく伝えていくことが、この震災からの教訓です。

防災対策というと、防波堤や避難施設などの整備といった大掛かりなハード整備が思い浮かぶかもしれませんが、「寝室にできるだけ物を置

かない」「家の中の家具の配置を考える」等々、日常生活のほんの少しの工夫も立派な防災対策です。被害軽減のために、一人ひとりが少しずつ行うことで、南海トラフ地震への備えを推進していきましょう。

防災まめ知識

知ってナットク

東北地方には、過去に津波が襲った各所に標識や石碑があります。須崎市にも津波で犠牲となった人の石碑があります。

大災害を後世に伝えていく災害教訓の伝承は、とても重要なことです。

地震・防災課 地震・防災係 ☎42・1236

今後の予定

- 3月
  - ・プール（津野町）
  - ・ひな祭り（雑寿司調理）
  - ・お別れ遠足
- 4月
  - ・図書館訪問
  - ・パン作り体験（モンブラン）
- 5月
  - ・遠足（バーベキュー予定）
  - ・図書館訪問
- 6月
  - ・野菜植え
- 7月
  - ・カレーパーティ（土佐市）



子どもたちの学びの場  
須崎市教育支援センター

支援センターは須崎市教育委員会の施設です。学校や家に居場所がない、そんな子どもたちの居場所を提供する場所です。

学校と連絡を取り合い、宿題や課題を支援センターでします。遠足や、イベントへの参加や、スポーツを楽しんだりもします。

また、学校に登校しながら支援センターに通うこともできます。

市内在住の小・中学校の生徒と保護者からの相談を随時受け付けています。利用も相談もすべて無料です。

まずは、学校や支援センターにご連絡ください。